作成•更新日 令和6年8月2日

事業名 唐沢山城跡保存整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	3-⑤	総合戦略	該当あり
	施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情報						
部教育部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	期間限定	複数年度

	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
担当組織	課	文化財課		唐沢山城跡保存整備事業	予算	款	10	新規or継続	継続事業
	係	唐沢山城跡	保存整備係	后八山坝的保付金佣尹来	科目	項	4	市単独or国県補助	国県補助事業
	体系コード	232	名称	根拠法令、条例等		目	5	義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	平成26年度	実施方法	一部委託
TYNK IT'NK	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり	文化財保護法	期間	終了年度	令和11年度	事業分類	その他市民に対する事業
	施策	2	歴史・文化資源の保存と継承						

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

本

事業概要

本市を代表する歴史・文化遺産である唐沢山城跡はその貴重性を認められ、平成26年3月に国指定史跡となった。指定後は史跡を良好な状態で未来に伝えるため、長期的な保存管理と整備活用が求められるが、東日本では希少な本城跡を象徴する石垣ですら崩落等が発生するなど危機的な状況にある。この市内唯一の国指定史跡を適切に保存管理しながら、歴史・文化を活かしたまちづくりへ活用していくためにも当事業の推進を図る。なお、緊急性の高い城跡中心部の石垣保存整備を優先的に行うとともに、史跡の調査を進めながらガイダンスの在り方について検討する。

(2)目的

(3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)
(本事業に
よって成し
遂げたい
状態)

唐沢山城跡を適切に保存・継承し、多様な活用を図るため整備を 行う。 唐沢山城跡について情報を発信し、史跡の重要性や当事業 の必要性についての理解向上を図る。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	各種整備の実施	件	1	1	1	1	1
	講演会・講座等の参加者	人	270	270	270	270	270
•							

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

<u> </u>	切入順		7/20	尹未貝の	11ツ	
	・史跡唐沢山城跡保存整備調査指導委員会の開催(8,2月)	活動指標	単位	R3	R4	R5
	·同上委員会委員個別指導実施(5,7,12,1月) ·文化庁調査官の現地指導(8月)	保存整備調査指導委員会		3	3	2
73 A	・石垣の清掃・点検 (通年)	各種設計·整備	件	1	1	1
活動実績 (R5年度に	「美國的公田展工安国川の你年来仍安司也大池(0~10月)	講演会·講座等	件	0	1	2
行った主な活動内容)	1·1末1子祭1冊1、1年)詞目:丰裕安式 (D~3月)	事業費計	千円	4,228	21,381	10,924
到四台)	・竹木伐採業務委託を実施(1~3月)	一般財源	千円	1,408	18,201	7,388
	・史跡ボランティア養成講座を開講(全5回 10~12月) ・ボランティア団体「史跡唐沢山城跡保存会」活動支援(通年)	特定財源(国·県·他)	千円	2,820	3,180	3,536
	・保存整備事業講演会を開催(3月)	(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明	١
(定量及び	
定性)	

史跡内での各種整備については石垣の保存整備のほか、石垣の位護を目的とする樹木伐採等による植生整備を進めた。また、講演会・講座等の参加者は、新型コロナ感染症の影響によてR3、4は講演会(講座は一部実施)が中止となったためのまたは少数にとどまったが、R5は両方とも実施したため、参加者数は大幅に増えたが、目標値には届かなかった。

保	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	各種整備の実施	件	1	1	1	値が大きいほど良い	効果は変わらない
たつ	講演会・講座等の参加者	人	0	3	255	値が大きいほど良い	効果が上がった
た							
₹							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	1指標
(551515	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった	0		
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

史跡の保存を最優先に整備に取り組んできたが、文化庁からは史跡の価値や魅力の発信を強化するなど活用面にも努めるべきとの指導があった。また、史跡ボランティア養成講 座を4年ぶりに実施したところ32名の参加者を得たが、新たにボランティア活動を開始した方はわずか2名にとどまるなど効果は非常に低かった。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
□ 事業費の見直し検討
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討
□ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

事業全体のスケジュールに大幅な遅延が生じていることから、令和6年度中にスケジュールの見 直しを行い、保存整備を最優先としつつ、活用のための整備についても前倒しして取り組んでい く。

□ 事業費の見直し検討□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名	天明鋳物	吻生産用具国指定推進事業	実施計画事業or一般事業	実施	計画事業	市長公約	3-⑤	総合戦略	該当
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当
L. 基本作		T		ı		1			
	部	教育部	予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
担当組織 政策体系	課	文化財課	天明鋳物生産用具国指定	予算	款		新規or継続	新規等	
	係	文化財保護係	推進事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	232 名称	根拠法令、条例等	事業	目		義務or任意	任意的	
	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり	」 佐野市文化財保護条例		開始年度		実施方法	一部	
	政策 施策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり 2 歴史・文化資源の保存と継承		刊间	終了年度	K5	争業分類	その他内部	争務
2. 事業 (1)事業 事業概要	業概要 大明鋳物	及び (基本計画期間内) 目標値 対象 (基本計画期間内) 目標値 対象 (基本計画期間内) 目標値 対象 (基本計画期間内) 目標では対象 (基本的では対象 (基本的では対象 できる) 関係 (基本的では対象 (基本的では対象 を) はいまままます。 (基本的では対象 (基本的では) (基本的では対象 (基本的では) (基本的						ナて、栃木県	と連
	また、生産用具を適切に保存するために、一時的に栃木県立博物館に生産用具を移設する。								
(2)目的	内		(3)目標値					-	
			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R
目的 (本事業に	記録化さ	は天明鋳物生産用具のうち、指定要件を満たすもの 形民俗文化財に指定されることにより、適切な保存・保	国重要有形民俗文化財に指定された天明鋳物生産用具	点	0	0	1,556		
よって成し									
遂げたい	護が図る。								
状態)									
	具及び製品 5月16日:	: 生産用具所有者から寄贈を受ける	活動指標 市内の国指定重要有形民俗文化財の件数	件	R3 0	R4 0	R5		
R5年度に	5月24日~	文化庁調査官現地指導(市内) 6月15日:生産用具を栃木県立博物館に搬出							
かた土な活 動内容)		文化庁調査官とのオンライン協議 収蔵施設先進地視察(福島県只見町)	事業費計	千円	0	0	6,457		
		文化庁調査官現地指導(栃木県立博物館)	一般財源	千円			6,457		
	10月11日	:文化審議会に諮るための資料を文化庁に提出	特定財源(国·県·他)	千円					
	3月21日:	重要有形民俗文化財に指定	(うち受益者負担)	千円					
(2) 汗ョ	- 動による効果		(4)事業効果を説明する数	が言ニー	カの併移		I	' ↓選択して	⊼ ≯ı
(3) /==	別による対大		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	_
			国重要有形民俗文化財に指定された天明鋳物生産用具	点	0	0			効果が上
効果説明	令和6年3	月21日、「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」は重					,		
(定量及び 定性)	要有形民俗	谷文化財に指定された。							
X-11-)									
		果(自動判定)	The second secon				***		
	SとR4の一般 T効果が Fカ	財源増減)	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった	
効果	効果は変わ	らない指標数 0指標		費	費用は下がった	7937(7) 117 370	7,51110-52,11-3-0-1	7937673 1 73 376	
(R5とR4の 旨標値増減)	効果が下か	った指標数 <u>0指標</u> 指標全体 効果が上がった		用	費用の増減無し				
(1) 令和 目標は達成	戊されたため、				句上のための				
、四季7 05	工作用共贝	- ノいこは、コガロサタルツ 入切好彻土准用完体作権	か尹未JICみり、四田化C11/ご生	注用关	と1250川で1木	170 CV1/º			
(2) 上語	記反省点及	び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組		1					
	古世~七~		取組説明						
		方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) こ上げるための事務改善の検討							

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

業名	文化財份	R護調査事	業	実施計画事業or一般事業	— _f	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略		
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当	
. 基本		1 +4 +5				T		I			
\ /&□& \ h	部	教育部		予算中事業名	~ ~	会計		事業計画	単年度		
当組織	課 係	文化財課 文化財保護	IV	文化財保護調査事業	予算 科目	款		新規or継続	継続市単独		
	体系コード	232	名称	根拠法令、条例等	1411	項 目	-	市単独or国県補助 義務or任意	任意的		
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	似是因为、未持持	車業	開始年度		実施方法		委託	
放策体系	政策		歴史・文化を守り育てるまちづくり	文化財保護法		終了年度	П17	事業分類その他市民に対			
	施策		歴史・文化資源の保存と継承	- 佐野市文化財保護条例	رتازدهر	彩] 牛皮		尹未刀叔	Costelland	- 73 9 0	
. 事業 1)事 業概要	業概要 佐野市域に ・市指定史	おける文化財跡や天然記念	画期間内)目標値 オの適切な保存活用を促進するための各種 な物等の草刈り、清掃作業等の維持管理 D開発行為に係る指導・協議及び試掘・確			通り。					
	* 连殿又16	烈己戚地的	川光1」荷に1余る百号・1励哉及ひ武侃・唯	:応加且で記球体行前且の关爪	<u>п</u>						
2)目的	内			(3)目標値	.,						
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R.	
日的 本事業に	市内に現存	する文化財等	等の適切な保存活用を図る。	市内にある国・県・市指定等文化財数	件	_		_	276		
よって成し	また、開発こ	工事等との調	整により埋蔵文化財の破壊を防ぐ。	埋蔵文化財包蔵地毀損件数 佐野市の伝統文化や文化財を大切にしたいと思う市民の割合	件 %	95	95	95	95		
遂げたい 状態)	これらの手法	去を通し、文化	ご財を大切にしようと考える市民を増やす。	性野中の伝統文化で文化財を入りにいたいで思う中氏の割合	%0	95	95	95	95		
· ·		~ = 1	ititi m) svan								
. 則年 原 1)活動		古動及ひ賀用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の	准移				
	•市指定史區	赤の草刈り・清技	 帚作業等の維持管理	活動指標	単位	R3	R4	R5			
			余草)、葛生人骨出土跡(清掃、除草)、	市指定文化財等の管理実施件数	件	13	12	10			
	石灰谷焼窯 跡(除草)	(除草)、木	浦原ザゼンソウ群落(除草・清掃)、佐野城	文化財保護法第93・94条届出受理数	件	85	76	67			
動実績	-保存修復等		h寺仁王門(シロアリ駆除)、唐沢山城跡								
R 5 年度に った主な活	(石垣休行	整備、除草) - 供る地蔵文化	財保護の指導・協議 前年度実績の集計	事業費計	千円	1,348	1,445	3,433			
動内容)			、別休護の指導・励識 削牛及夫種の集計 域地に関する照会に対する回答(通年)、庁	5 11.2 521		,	,	,			
			画・実施状況の照会(4月)、前記照会答		千円	1,348	1,445	-			
		5月)、文化財	r保護法に基づく発掘届出の県への進達等事	特定財源(国・県・他)	千円			9			
	務(通年)			(うち受益者負担)	千円						
3)活動	動による効果			(4)事業効果を説明する数	な値デーク	タの推移			- ↓選択して	下さい	
	文化財件数	なについては、」	吉澤山神社社殿等が国登録有形文化財	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR50	
果説明				市内にある国・県・市指定等文化財数	件	269	269		値が大きいほど良い	効果が上	
コントロンローソコ			損はなかった。	埋蔵文化財包蔵地毀損件数	件	0.0	0.0		値が小さいほど良い	効果は変わ	
定性)			化財を大切にしたいと思う市民の割合は微	佐野市の伝統文化や文化財を大切にしたいと思う市民の割合	%	90.0	89.1	87.7	値が大きいほど良い	効果が下	
	減した。										
		果(自動判定		1				41 ==		ı	
	とR4の一般 効果が上が		費用が増加した 1指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった		
効果	効果は変わ	らない指標数	1指橝	•	費	費用は下がった	が来りエルラに	が大は多い	MAN I N NE		
R5とR4の 標値増減)	効果が下が		1指標		用	費用の増減無し					
_	度に向けた検	指標全体	効果は変わらない 対る反省点、環境変化や関係者からの意見] 見等を踏まえた検討課題、費用:		費用が増加した)課題	O			
和5年度	とは、職員の独	病気休暇に伴	い会計年度任用職員を任用したため、事	業費が増加した。							
2) 上記	記反省点及(び課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組								
. ,				取組説明							
			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討								

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成・更新日 令和6年8月1日

1上尹	りがでし	ルベリン	/一下(中和 5 年段	.夫加刀)			1 F.	戏•史机口	-ОПФСТ	牛0月1口
事業名	郷土資料	科保存三好	·館維持管理事業	実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	手 報									
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	文化財課		郷土資料保存三好館維持	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	文化財保護	<u>係</u>	- 管理事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	232	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的	り事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H16	実施方法	一部	委託
政策体系	政策		歴史・文化を守り育てるまちづくり	1		終了年度	1110		施設維持	
	施策		歴史・文化資源の保存と継承	1	747107	於丁牛皮		尹未刀炽	儿巴口又小庄门勺	日生于未
(1)事業	美概要		画期間内)目標値 維持管理し、利用者に良好な環境を提供	する。						
(-) -				(-) — 						
(2)目的	J			(3)目標値	N//					
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	建物・機械	設備等を適切]に管理し、展示室や収蔵施設の最適環	良好に管理された資料数/収蔵資料数	%	100	100	100	100	100
(本于未に			用者が、安全で快適に施設を利用できる							
0.1 00	環境を保つ									
状態)	水児で休り	•								
ŕ										
3. 前年度 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の打	隹移		_	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				管理·維持点検件数	件	2	2	2		
				修繕件数	件	1	0	2		
活動実績	・施設の維持	持管理に係る	消耗品の購入、光熱水費の支払	沙腊什奴	117	1	0		-	
(R5年度に	・火災保険	に加入								
行った主な活			の保守点検業務の委託(年間)	事業費計	千円	200	260	287	İ	
動内容)	・植栽剪定		3 M 3 M 3 S S S S S S S S S S S S S S S	尹未貝司	TD		200	207	ł	
	1E/MJJAC			一般財源	千円	200	260	287		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(-)	 					111.75				
(3) 沽重	がこよる効果			(4) 事業効果を説明する数					↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
ᄽᄪᄣᄜ				良好に管理された資料数/収蔵資料数	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
効果説明(定量及び	咨判/+白石	アに管理されて	117							
定性)	只作(6LXX)	I C E ZECIT C	V '0°							
LIL)										
/ E \ ## II	7+++L CD 6+ C	n / 🕁 🔠 wu 亡	-)					•		
		果(自動判定	•			ĺ		+1 m		1
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	つに指標数 らない指標数	0指標 1指標	-		費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が		0指標	-	費	費用の増減無し		\cap		
指標値増減)	77321473 1 73	指標全体	効果は変わらない	1	用	費用が増加した				
(1)令和		 『業実施におり	ける反省点、環境変化や関係者からの意味		対効果[句上のための	D課題			
			学校校舎」でもあり、文化財保護の側面か 	つむ週切は維持官理を行う。						
				取組説明						
	事業効果を 事業費の見	上げるための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討	ייייין אייייין אייייין	ı					
	耒務時間第	リ半16のにめの)事務改善の検討							

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成・更新日 令和6年8月1日

1上尹	は事の派り返りンート(phi 5 年及夫加力) 「「mi i i i i i i i i i i i i i i i i i										
事業名	佐野市道	遺跡地図作		実施計画事業or一般事業	実施	計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
	l			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり	
1. 基本情		I++ -+		T							
	部	教育部		予算中事業名	~ ~	会計			期間限定		
	課	文化財課	17.	佐野市遺跡地図作成事業	予算	款		新規or継続	継続		
	係なっじ	文化財保護	添	担加计会 友周笙	科目	項 目		市単独or国県補助 義務or任意	国宗相 任意的	助事業	
	体系コード	232		根拠法令、条例等	事業	開始年度			一部		
以汞体糸	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり					実施方法	計画策定・		
	政策 施策		歴史・文化を守り育てるまちづくり 歴史・文化資源の保存と継承		州川山	終了年度	K/	争耒ፓ翔	司 画來足	官埕尹未	
	概要と目的及		画期間内)目標値								
事業概要	その整理・総		財包蔵地の範囲について、現地踏査・確認和7年度に『佐野市遺跡地図』を刊行し、 可7年度に『佐野市遺跡地図』を刊行し、 うう。	· · · · · · · · · · · · · · · · ·							
(2)目的	þ			(3)目標値							
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
目的	遺跡地図が	が作成されるこ	とにより、市民・事業者に包蔵地の範囲を	地図に反映された埋蔵文化財包蔵地	箇所		403	403	403	602	
(本事業に よって成し			・指導をすることにより、埋蔵文化財の保								
	護に努める	ことができる。	32 (3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								
状態)											
3. 前年度 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の持	推移				
				活動指標	単位	R3	R4	R5			
				現地調査済面積	k m		118	237			
活動実績				佐野市遺跡地図作成済面積 	kmi		84	84			
(R 5 年度に	R4年度に着	手しなかった	旧田沼町域の一部と旧葛生町域の一部								
· ·	において現り	也踏査を実施	した。	事業費計	千円	0	4,944	4,749			
動内容)				一般財源	千円		813	3,684			
				特定財源(国·県·他)	千円		4,131	1,065			
				(うち受益者負担)	千円						
(つ) 汗雨	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	, (古二)	カルサ仕 4夕			- ↓選択して		
(3) /白製	かによる対本			効果指標	単位	R3	R4	R5	☆選がして		
				地図に反映された埋蔵文化財包蔵地	箇所	IN.S	403			効果は変わらない	
79321400.73			跡地図作成のための現地踏査の実施で		14//1		100	103			
(//			豆映されず、令和7年度の遺跡地図刊行								
定性)	時に、効果	か現れる。									
(5)費田	日対効里結馬	果(自動判定	·)								
, - ,	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果			
	効果が上が	った指標数	0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
メリスト (R5とR4の	効果は変わめ	らない指標数	1指標 		費	費用は下がった					
指標値増減)	XII X III I II	指標全体	<u>∪抽伝</u> 効果は変わらない		用	費用が増加した		\circ			
(1)令和			ナる反省点、環境変化や関係者からの意見 る。	見等を踏まえた検討課題、費用な	対効果[句上のための)課題				
(2)上記	己反省点及び	グ課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	F-40=V00							
_	事业。 ——-	→ +Δ=		取組説明						1	
		上げるための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討								

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討 □ 事業費の見直し検討□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

虫 辛 夕	ケルロナク	花字 洋人	運営事業	実施計画事業or一般事業		投事業	士巨ハめ	=4.17.+7.1	经个带量	■女壮+い	
事業名 ス	人16約1末	设备硪之	【 理呂尹未	ただまである。 施策横断的な取組との関連性					総合戦略 スマートシティ	該当なし	
基本情幸	16			地外関西門が机阻との因とは	3003	欧当後し	22777777	BX 3/60	X (12)1	B) 60	
剖	•	改育部		予算中事業名		会計		事業計画			
当組織調		と化財課	. In-	文化財保護審議会運営事	予算			新規or継続	継続		
係		文化財保護		業	科目		· ·	市単独or国県補助	市単独		
	*系コード	232	名称 新たな流れの創造による賑わうまちづくり	根拠法令、条例等 佐野市文化財保護条例、佐	車業	開始年度		義務or任意 実施方法	義務的		
双束体糸 —	基本目標 数策		歴史・文化を守り育てるまちづくり			終了年度					
	施策		歴史・文化資源の保存と継承	規則	743103	於丁牛皮		尹未刀叔	田贼五寸	注白于	
2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1)事業概要 地方自治法、佐野市文化財保護条例に基づき、教育委員会の附属機関として文化財保護審議会が設置されている。審議会は、教育委員会からの諮問を受事業概要 け、文化財の保存・活用について調査・審議し、教育委員会に建議する諮問機関であり、その事務執行に伴う経費を計上する。また、委員の資質向上のため先進											
	大文化財の地視察研修を			(3)目標値				た、委員の			
日的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
目的 本事業に 審	諸会が活動	かしやすい環	環境を提供し、審議会委員の活発な議論	審議会委員出席率 防火査察件数	<u>%</u> 件	100 1	100 1	100	100 1	10	
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- > /3// -/-	延し、市内の文化財の適切な保存・保護を	· 阿大且宗什女	1+	1	1	1	1		
遂げたい 援 状態)	景助し、文化	財の積極的	りな活用を促す。								
DVIB()											
. 前年度 <i>0</i> 1)活動第		動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ					I		
,,	L m z - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	14 /D =# == = =	*^*D#	活動指標	単位	R3	R4	R5			
	:野市文化的 事業内容】	好保護番 請	会委員数 9人	審議会開催数		2	2	2			
- .	3 214. 3	可文化財傷	民護審議会開催(9人出席)	審議会委員延べ出席者数	人	17	16	18			
	•		護審議会開催(書面開催 9人出席)								
った主な活・	· 1/29 防火	(査察に参加	П	事業費計	千円	149	124	189			
	(個別指導)			一般財源	千円	149	124	189			
			2 出井委員) E像(2/21 渡邉委員)	特定財源(国・県・他)	千円	113		103			
•;	水口寸1土	:Г1Ж01_:	上隊(2/21 波遷安員)	13.2.3							
				(うち受益者負担)	千円						
3)活動に	こよる効果			(4) 事業効果を説明する数		りの推移			↓選択して	下さい	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質		
カ果説明 _全	3和5年度は	・家議会に参	受員全員が出席した。	審議会委員出席率 防火査察件数	% 件	94 0.0	89 0.0	100		効果が上がっ	
定量及び	5火査察も3			例入 <u>日</u> 宗 数	- 11	0.0	0.0	1.0	and Account to	<i>M</i>	
定性)	_ 3										
(5)費用対	付効果結果	(自動判定	Ē)								
	R4の一般財		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果			
	カ果が上がっ カ果は変わらぇ		2指標 0指標	_	æ	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
	力果が下がっ	た指標数	0指標		費 用	費用の増減無し	0				
1) 令和5		- 業実施にお	効果が上がった ける反省点、環境変化や関係者からの意			費用が増加した 可上のための)課題				
度当初に各											
	豆省点及び	課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	l 取組説明							

2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり

3 歴史・文化を守り育てるまちづくり

2 歴史・文化資源の保存と継承

直営

事業分類 その他市民に対する事業

H23 実施方法

事業名 指定文化財保存修復支援事業 一般事業 該当なし 総合戦略 該当なし 実施計画事業or一般事業 市長公約 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 教育部 一般 事業計画 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 担当組織 文化財課 継続事業 課 予算 款 10 新規or継続 指定文化財保存修復支援事業 文化財保護係 市単独事業 係 科目 項 4 市単独or国県補助 232 体系コード 名称 根拠法令、条例等 目 5 義務or任意 任意的事業

財保護条例

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

基本目標

政策

施策

事業概要

政策体系

佐野市の歴史や文化を語るうえで、貴重であるが、指定から年月がたち、破損や劣化したものが多数ある。これらの修理・復旧、その他に関する保存事業には、多額の費用を要する場合が多く、その負担に堪えない場合があるため、その経費の一部について補助金を交付し、適切な保存保護を図る。

文化財保護法、佐野市文化

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	①文化財所有者等の負担を軽減する。	市内にある国・県・市指定等文化財数	件				276	278
(本事業に	②文化財の保存事業を行うことで、文化財を後世へ伝える。	佐野市の伝統文化や文化財を大切にしたいと思う市民の割合	%	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
よって成し 遂げたい	③市の歴史・伝統文化・文化財を大切にしたいと考える市民を増や							
	す。							
2.,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

事業

期間

開始年度

終了年度

	D 夫楨	(2) 活動で説明9つ数値アーダ及び事業員の推移						
		活動指標	単位	R3	R4	R5		
活動実績 (R5年度に		文化財修理に関して助成を希望された件数	件	1	1	1		
		保存事業に補助金交付を実施した件数	件	1	1	1		
	対象文化財:永台寺仁王門及び仁王像(市指定文化財)							
・ 行った主な活 動内容)	補助した事業内容:シロアリ駆除のための薬剤散布	事業費計	千円	36	200	85		
期内谷)		一般財源	千円	36	200	85		
		特定財源(国·県·他)	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
+L CCC = W D C	文化財件数については、唐澤山神社社殿等がが国登録有形文化	市内にある国・県・市指定等文化財数	件	269	269	274	値が大きいほど良い	効果が上がった	
勿果説明	財になり増えた。	佐野市の伝統文化や文化財を大切にしたいと思う市民の割合	%	90.0	89.1	87.7	値が大きいほど良い	効果が下がった	
	佐野市の伝統文化や文化財を大切にしたいと思う市民の割合は微								
ÆIL)	減した。								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった		0	
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

補助対象事業費が少額であったため、費用は下がった。

件数が横ばい状態であり、所有者への制度の周知を行うなど、改善策を検討したい。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
\checkmark	事業効果を上げるための事務改善の検討
	車業専の目古に検討

□ 事業質の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

文化財所有者に対し、制度を周知を行うなど、改善策を検討したい。

作成•更新日 令和6年8月2日

事業名 全国史跡整備市町村協議会参画事業 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

		部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織		課	文化財課		全国史跡整備市町村協議	予算	款	10	新規or継続	継続事業
		係	唐沢山城跡	保存整備係	会参画事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	232	名称	根拠法令、条例等		目	5	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	平成31年度	実施方法	直営
	TXXK ITVIV	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり	文化財保護法	期間	終了年度	1	事業分類	参画事業
		施策	2	歴史・文化資源の保存と継承						_

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 | ②

全国史跡整備市町村協議会(以下、全史協)及び全史協関東地区協議会に参画することで、国指定史跡を有し文化財を活かしたまちづくりを推進する全国の市町村(R5現在630団体)と情報交換や連携を図るとともに、文化庁からの指導等を得やすくなることで、本市内唯一の国指定史跡唐沢山城跡の望ましい整備の推進を図る。

(3)目標値

(2)目的

目的

(本事業に

よって成し 遂げたい

状態)

協議会に参画することで全国の加盟市町村との情報交換を図り、 史跡整備に関する最新の情報を共有し、唐沢山城跡の保存や活 用に係る整備に結びつける。

効果指標 単位 R3 R4 R5 R6 R7 協議会加盟市町との情報交換件数 件 5 6 7 8 9 唐沢山城跡内の保存整備件数 件 1 1 1 1 1

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(工) 冶勤入模			///	于未只约	止リン	
活動実績 (R5年度に 行った主な活動内容)	・主史版の負担金(40,000円) 文出 令和5年度大会(埼玉県川越市)欠席 ・全史協関東地区協議会の負担金(10,000円)支出 令和5年度総会及び研修会(神奈川県相模原市)欠席	活動指標	単位	R3	R4	R5
		大会·研修会等参加		2	0	2
		機関誌収集	部	1	1	1
		事業費計	千円	40	40	50
		一般財源	千円	40	40	50
		特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明
(定量及び
定性)

全史協大会及び全史協関東地区協議会総会等を欠席したことから、近県の加盟自治体との情報交換しかできなかった。また、本市で板史協のR5大会を開催したことから、県内の自治体との情報交換を行う機会となったが、目標値を下回った。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
とか	協議会加盟市町との情報交換件数	件	5	2	4	値が大きいほど良い	効果が上がった	
市で	唐沢山城跡内の保存整備件数	件	1	1	1	値が大きいほど良い	効果は変わらない	
シ 換								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5とR4の一般財源増減)		費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

全史協及び全史協関東地区協議会の各事業に参加することができなかったことから、全国の加盟自治体との情報交換を行うことができなかった。目標を達成するためには栃史 協を含め各団体の事業に積極的に参加する必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
事業効果を上げるための事務改善の検討
事業費の見直し検討
業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

全史協及び全史協関東地区協議会、栃史協の各団体の事業予定を事前に把握し、可能な限り大会等へ参加して情報交換の機会を設けられるようにする。また、各団体の事業以外においても、各加盟自治体へ積極的に問い合わせを行うなど、唐沢山城跡の保存や活用に係る整備に活かせるように取り組む。